

# 指定管理者評価シート

所管課: 中央市民サービスセンター

施設名称	檜山地区コミュニティセンター	指定管理者名称	檜山地区コミュニティセンター管理運営委員会
指定期間	平成27年 4月 ~ 令和2年 3月	評価対象期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
平成29年度	48,171 人	5,310,949 円	5,116,414 円	194,535 円
平成30年度	45,415 人	5,581,014 円	5,491,922 円	89,092 円
平成31年度	40,679 人	5,509,329 円	5,509,329 円	0 円

評価項目		評価
1 市民の平等な利用の確保		S
①平等な利用確保	・不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていない	A
	・個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない	S
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		S
①法令等の遵守	・条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っている	A
②地域振興への貢献	・地域関係機関、ボランティア等との連携が図られている	S
	・地域の特性を活かした自主事業を実施している	A
③広報活動の実施	・施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っている	S
④施設の利用促進	・施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている	A
⑤サービスの向上	・利用者に対するサービス向上の取組がなされている	S
3 効率的な管理		S
①施設・備品管理	・建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されている	A
	・備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われている	S
	・市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれている	S
②環境への配慮	・電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいる	A
4 適正かつ確実な管理を行う能力		A
①適正な人員配置	・施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われている	A
②接遇・研修・苦情対策	・利用者に対する職員の接遇、マナーは適切である	S
	・職員の資質の向上のため、研修等を行っている	A
	・アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている	S
③安全管理・危機管理	・事故防止のための取組を行っている	A
	・事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されている	S
	・マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っている	S
④個人情報の保護	・個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られている	A
⑤収支状況	・収支計画に基づいた適切な執行を行っている	A
	・文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っている	A
5 その他【管理関係】		A
①金庫の管理	・金庫と施錠に関して、適切に管理されている	A
②施設の鍵の管理	・施設の出入口の鍵が適切に管理されている	A
③現金取扱い	・現金の取扱いに関して、適切に管理されている	A
総合評価		S

## 評価に係る特記事項

1については、管理運営マニュアル等に基づいて、利用者に対する平等な利用が確保されているものと認められる。  
 2については、自主事業のサロンならこみを開催し地域との連携を図っているほか、図書コーナーの使用を継承するなど、施設の設置目的を達成しているものと認められる。  
 3については、施設巡回簿・備品貸し出し台帳を作成するなど管理が適切に行われている。受付窓口での省エネに対する呼びかけや室内掲示もされており適切に行われていると認められる。また、館内が清潔に保たれている。  
 4については、勤務態勢の改善を図り、緊急時のスタッフの連絡網も確立されている。職員の接遇マナーも、利用者のアンケート調査で基準以上の満足度を得られている。苦情処理の対応は、細かい改善を図りながら取り組んでいる。防災訓練は煙中訓練も併せて実施しており、安全安心に対する意識の高さが認められる。また、収支状況の管理も適切と認められる。  
 5については、金庫の管理は適切に行われている。施設の鍵の管理簿を作成し適切な管理が行われている。また、必要最低限の現金を適切に取り扱っている。  
 以上のことから、指定管理者として総合的に適切に管理・運営が行われたものと評価している。